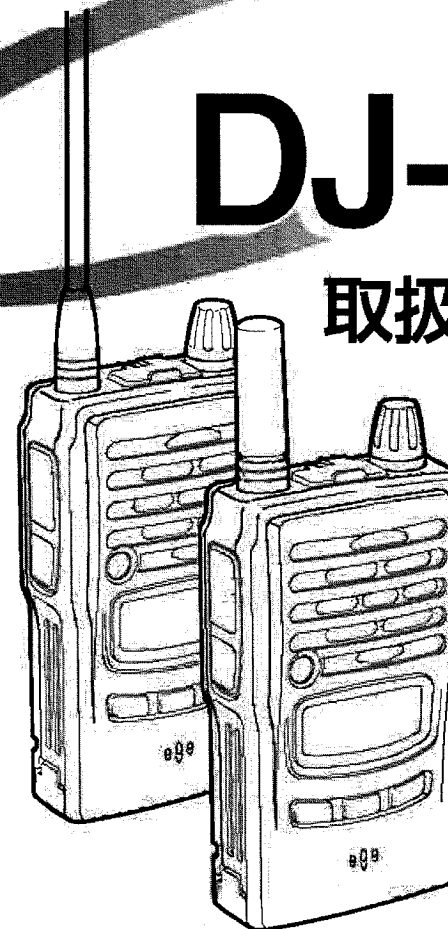


ALINCO

特定小電力ハンディトランシーバー
(総務省技術基準適合品)

DJ-U1

取扱説明書



ALINCO株式会社 電子事業部

東京営業所 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番21号八重洲セントラルビル4階 TEL.03-3278-5888
大阪営業所 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1丁目2番6号新ダイビル9階 TEL.06-4797-2135
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1丁目3番6号第3博多備成ビル7階 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店または、フリーダイヤル ☎ 0120-464-007

全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。

受付時間／10:00～17:00月曜～金曜(祝祭日及び12:00～13:00は除きます)

ホームページ <http://www.alinco.co.jp/> 「電子事業」をご覧ください。

アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を十分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。

PS0569
FNNK-EE

ALINCO株式会社



警告

■使用環境・条件

-  自動車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。
-  運転者が使用するときは車を安全な場所に止めてからご使用ください。携帯電話・無線機を運転中に使用すると道路交通法違反で罰せられます。
-  電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。
-  内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
-  航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内では絶対に使用しないでください（電源も入れないでください）。運行の安全や無線機の運用、放送の受信に支障をきたしたり、医療機器が故障・誤動作する原因となります。
-  この製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。
-  この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。
-  この製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。
-  この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。
-  指定以外のオプションや他社のアクセサリ製品を接続しないでください。故障の原因となります。

■トランシーバー本体の取り扱いについて

-  イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。

1

-  安定化電源の電源プラグをACコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。
-  DCケーブルを加工したり、ヒューズホルダーを取り除いて使用することは、絶対にしないでください。火災・感電・故障の原因となります。

■シガーライターケーブルの使用について

-  めれた手でシガーライターケーブルに触れないでください。感電の原因となります。
-  弊社指定のシガーライターケーブルをお使いください。指定以外のものを使うと、火災・感電・故障の原因となります。

■異常時の処置について

-  以下の場合、すぐ本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービスセンターにご連絡ください。お客様による修理は、違法ですから、絶対にお止めください。
-  異常な音が出たり、煙が出たり、臭いが出たりするとき
-  内部に水や異物が入ったとき
-  電圧調整のコードが破損したとき（芯線の露出や断線など）

-  音が鳴り出したら、安全のため本体の電源をOFFにし、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

■保守・点検

-  本体や充電器のケースは、開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。

3

-  このトランシーバーは調音済みです。特定小電力トランシーバーをユーザーが改造、変更することは法律で禁止されています。
-  布や布面で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。
-  水をかけたり、水が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。
-  水などでぬれやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

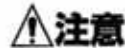
■充電器の取り扱いについて

-  指定以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  充電器のACプラグのコードをタコ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。
-  めれた手で充電器のACアダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。
-  充電器のACアダプターを、ACコンセントに確実に差し込んでください。ACアダプターの刃に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。
-  充電器のACアダプターの刃に、ほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。

■安定化電源の使用について

-  指定以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  安定化電源の電源プラグと他の製品の電源プラグをタコ足配線しないでください。
-  めれた手で安定化電源の電源プラグに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。

2



注意

-  テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。
-  温度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
-  ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
-  直射日光があたる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。
-  調理台や加湿器のそばなど油煙や蒸気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■トランシーバー本体の取り扱いについて

-  アンテナを回して目などに当たらないようにしてください。
-  イヤホン/マイクロホン端子にはオプションのイヤホン/マイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。
-  長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いてください。
-  アンテナを持って本体を振り回したり、投げたりしないでください。けがや故障、破損の原因となります。
-  ゴムカバーやツマミを無理に引き抜いたりしないでください。故障の原因となります。

4

■充電器の取り扱いについて

- ❌ 充電器のACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。必ずACアダプターを持って抜いてください。
- ❌ 充電器のACアダプターを熱器具に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■保守・点検

- ❗ お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。
- ❗ 汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外装や文字が変質する恐れがあります。

■外部電源使用時の注意

- ❗ 本機に外部電源を接続する場合には、必ずオプションのACアダプター(EDC-122)を使用し、本体側面にあるDC電源ジャックに直接接続してください。
- ❗ 車のシガーソケットから電源を取る場合には、オプションのシガーDC/DCコンバーター(EDH-33)をご使用ください。
- ❗ 外部電源ケーブルの抜き差しは、必ず本体の電源をOFFにしてからおこなってください。

■市販の単三形充電電池について

- ❌ 市販の単三形充電電池は、機能的・電氣的にお使いにならないものがあります。誤って使用すると電池が液漏れしたり、発熱・破裂などを起こす危険がありますので、市販の充電電池をご使用になつての不具合、損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

5

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

安全上のご注意

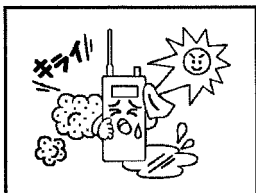
目次	6
使用前のご注意	7
機能と特長	9
1. お使いになる前に	10
付属品と取り付け方	10
乾電池の入れ方	11
各部の名前とはたらき	15
特定小電力の通信制限について	19
2. 中継通信(半復信)モード	20
3. 交互通話(単信)モード	23
4. 便利な機能	25
グループトーク	25
キーロック(2タイプ)	26
バッテリー警告機能	27
リセット	28
5. セットモード	29
セットモード一覧	29
各項目の設定方法	29
ビープ音量設定	31
NI-MH電池充電機能	31
スケルチレベル設定機能	32
PTTホールド機能	32
6. 付録	33
各チャンネルの送受信周波数	33
トーン周波数一覧(グループ番号)	33
オプション一覧	34
故障とお考えになる前に	35
定格DJ-U1	36

6

◆◆◆ 使用前のご注意 ◆◆◆

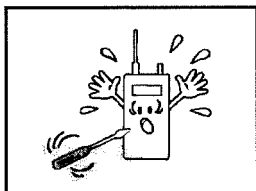
■ご使用環境

高温、多湿、直射日光の当たるところ、粉じんの多い場所は避けてお使いください。



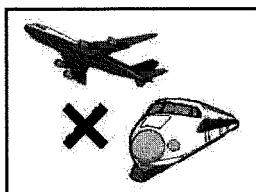
■分解しないで

特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対にしないでください。



■ご使用禁止場所

本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。
(航空機内、空港敷地内、新幹線車内、中継局周辺、病院内など)



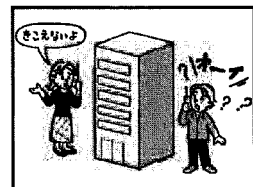
海外では、法律や周波数の割り当てが異なるため使用できません。

This product is permitted for use in Japan only.

7

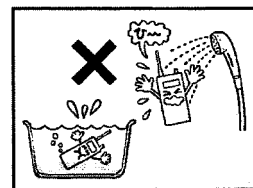
■障害物

本機に採用されている電波は直進性が高いため、間にビルや橋脚、または山や丘陵等の障害物があると通信できる距離が短くなります。



■水につけないで

JIS保護等級7(防滴形)の防水性能がありますが、ゴムキャップや電池カバーをきちんと閉じていないと防水性能を保障できません。また完全防水構造ではありませんので水没、流水での洗浄などは絶対におやめください。濡れたあとは乾いた布で手早く拭き取り、電池を抜いて内部を良く乾燥させてください。
なお、防水に使われているゴムキャップなどは経年劣化が生じ、防水性が失われる場合があります。弊社では防水性についても製品と同じ保証期間とさせていただきますのでご了承ください。



■通信距離(ロングアンテナタイプ交互通話時)

通信できる距離は周囲の状況によって大きく異なります。
(ショートアンテナタイプは約3割短くなります。)

- ・海上、山頂など条件のよいところ : 2Kmまたはそれ以上
- ・河原など障害物のない平地 : 500m~1Km程度
- ・見通しのよい道、郊外の住宅地 : 500m程度
- ・市街地のような障害物の多いところ : 200m程度

8

◆◆◆ 機能と特長 ◆◆◆

- ・専用の中継器 (DJ-U2R) を設置することで、中継通信が可能
- ・中継通信モードと交互通話モードの2種類の通信モードを搭載
- ・音声通話の明瞭度を上げるコンパnder機能を搭載
- ・ビジネスユースに耐える頑丈ボディ
- ・単三形乾電池2本仕様のコンパクトボディ
- ・オプションのLi-Ion充電電池、Ni-MH充電電池に対応
- ・本体に2タイプの充電回路を内蔵
- ・用途に応じてロング (Lタイプ) / ショート (Sタイプ) の2機種を用意

1 お使いになる前に

本機をお使いになる前にお読みください。

1

..... 付属品と取り付け方

開梱しましたら、付属品を確認してください。

- ベルトクリップ (ビス1本) □取扱説明書 (本書)
□ハンドストラップ □保証書

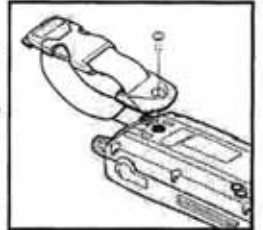
注意 保証書に購入の日付が記載されていないときは、レシートを保証書と一緒に保管してください。ご購入日が証明できる書類が無いと保証サービスは断効となりますのでご注意ください。

■ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップを付属のビスで本機の背面に取り付けます。
確実に取りつけたことを確認してください。



- ・バンド部分は、長さ調節機能付きで、最大80mmの幅のベルトに対応します。
- ・クリップは差し込み式で、片手で簡単に装着することができます。
- ・ベルトクリップは消耗品で、スペアを部品として販売しています。本体をお買い求めの販売店にご相談ください。

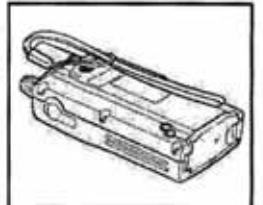


■ストラップの取り付け

本機背面上部にあるストラップ用の通し穴に取り付けます。



ベルトクリップとハンドストラップの両方を取り付ける場合には、先にハンドストラップを取り付けてからベルトクリップを取り付けてください。



9

10

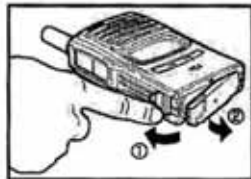
お使いになる前に

..... 乾電池の入れ方

乾電池を次のように装着します。乾電池の代わりに、オプションの充電電池、またはバッテリーパックを装着することもできます。

① カバーを開ける

- ① ロックを外します。
- ② カバーを開けます。



1

② 電池を入れる

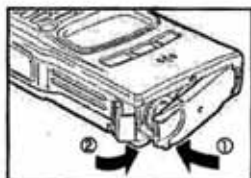
市販の単三形乾電池2本を、ケース内側の「+」、「-」の表示にしたがってセットします。



- 注意**
- ・「+」「-」の向きが合わないようご注意ください。
 - ・電池は同じ種類の新しいものを使用してください。アルカリやオキシライドなど、高性能の乾電池の使用をおすすめします。
 - ・単三形乾電池及びEBP-57N、EBP-60でご使用ください。指定以外の充電式電池は使用しないでください。
 - ・長期保管しない場合は電池を取り外してください。
 - ・電池の交換は、外部電源を外し、本機の電源をOFFにしてからおこなってください。
 - ・カバーを長期間開けたままにすると、カバーと本体の間に細かいホコリが溜まって、カバーの開閉がしにくくなります。時々、乾いた布などでカバーのゴムパッキンに溜まったホコリを拭き取ってください。

③ カバーを閉める

- ① カバーを閉めます。
 - ② カバーを押さえながら、ロックをかけます。
- きちんと閉まっていることを確認してください。



11

お使いになる前に

● オプション

オプションの充電電池、バッテリーパック、および関連するアクセサリは次のとおりです。P.34の「オプション一覧」も参照してください。

ニッケル水素充電電池	: EBP-57N (1.2V・1800mAh)
リチウムイオンバッテリーパック	: EBP-60 (3.7V・1200mAh)
ACアダプター	: EDC-122
充電スタンド	: EDC-131
充電スタンド/ACアダプターセット	: EDC-131A
EBP-60用連結充電スタンド	: EDC-155R
EDC-155R連結充電用ACアダプター	: EDC-156

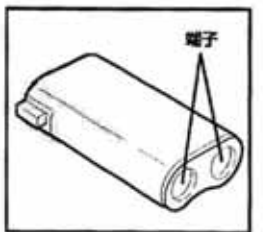
1

注意 オプションの充電電池、バッテリーパック使用上の注意

- ・オプションの充電電池、バッテリーパックは出荷時には充電されておられません。お買い上げ後に充電してからご使用ください。
- ・充電は0℃～40℃の温度範囲内でおこなってください。
- ・バッテリーパックの改造、分解や火中、水中への投入は危険です。絶対にしないでください。
- ・バッテリーパックの端子は絶対にショートさせないでください。液体が漏れたり、バッテリーの発熱による火傷の恐れがあります。必要以上の長時間の充電 (過充電) は避けてください。バッテリーパックの性能を低下させる恐れがあります。
- ・バッテリーパックの保存は、-20℃～+45℃の範囲で温度が低く乾燥した場所を選んでください。それ以外の温度や湿度の高い所では、バッテリーの漏液や、金属部分のサビの原因になりますので避けてください。
- ・バッテリーパックは、通常の使用で約500回の充電が可能です。所定の時間充電しても使用時間が短く短い場合は寿命が近づいたものと扱われます。新しいものに交換してください。
- ・ご使用済みのバッテリーパックは、環境保護のため、燃えないゴミといっしょに捨てずに、電池回収店へご持参ください。

■ バッテリーパックのショート防止の注意

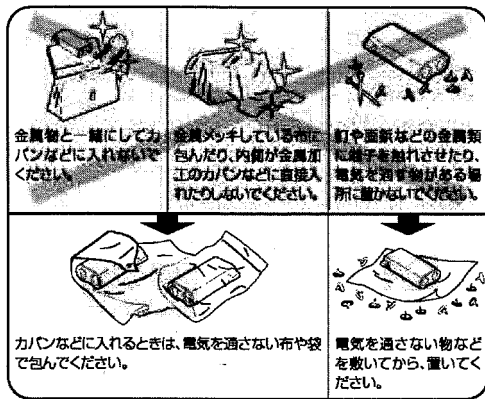
バッテリーパックを持ち運ぶときには、端子がショートしないように注意してください。(P.13)
大電流が流れて火傷や火事をおこす危険があります。



12

■バッテリーパックの保管と携帯について

バッテリーパックを保管、携帯するときは、以下のことに注意してください。



1

■オプションの充電機、およびバッテリーパックの充電方法

本機には、ニッケル水素充電機用とリチウムイオンバッテリーパック用の2つの充電回路が内蔵されています。

ニッケル水素充電機 (EBP-57N) :

本機にはニッケル水素充電機用のトリクル充電回路が内蔵されていますが、微小電流による充電回路であるため満充電には長時間を要します。あくまでも補充程度とお考えください。充電時間は約15時間です。(外部より電源を供給している間は充電を継続します。)

リチウムイオンバッテリーパック (EBP-60) :

本機には、リチウムイオンバッテリーパック用の急速充電回路が内蔵されています。本機の電源のON/OFFに関係なく充電が開始され、満充電になると自動的に終了します。充電時間は約3時間です。

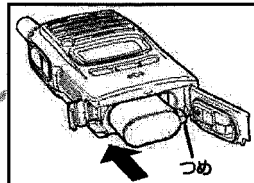
注意 単三形乾電池装着時には絶対に充電しないでください。液漏れや発熱、破裂を起こし、事故や故障の原因となります。

メモ ニッケル水素充電機 (EBP-57N) を長期間使用しない場合は、常温付近で保存し、6ヶ月に1回は満充電をおこなってください。

13

① 本機にニッケル水素充電機または、リチウムイオンバッテリーパックを装着する

装着方法はP.11を参照してください。バッテリーパックは、つめの位置を確認して、端子が奥になるように挿入してください。



1

② ACアダプターを家庭用電源 AC100Vコンセントへ接続する

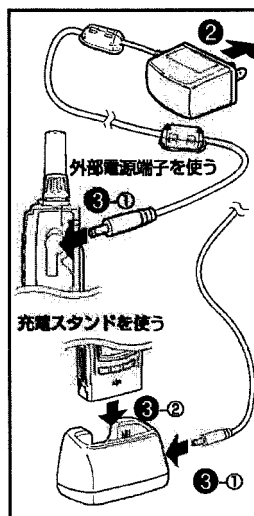
③ ACアダプターのプラグを本機の外部電源端子または、充電スタンドに接続する

●外部電源端子を使う

① 本機の外部電源端子にACアダプターのプラグを接続します。
→リチウムイオンバッテリーパック装着時は、自動的に充電が開始されます。

●充電スタンドを使う

① 充電スタンドにACアダプターのプラグを接続します。
② 本機を充電スタンドに装着します。
→リチウムイオンバッテリーパック装着時は、自動的に充電が開始されます。



④ ニッケル水素充電機を充電する場合のみ、NI-MH電池充電機能 (P.31) の設定に従い、充電機能をONにする

メモ 電源OFFの状態で充電すると「CHARGE」と表示され、 が点滅します。

14

..... 各部の名前とはたらき

本機の各部の名前とそのはたらきを説明します。

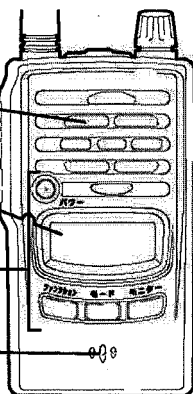
■前面部

スピーカー
薄型スピーカーが内蔵されています。

ディスプレイ
運用状態やチャンネル、グループ番号、音量、各種設定内容を表示します。

キーパッド
電源のON/OFFや各種設定に使用します。

マイク
マイクと口元は約5センチ離してください。



1

■上部部

アンテナ

注意 アンテナは外れないようになっています。アンテナを回したり、引き抜いたりしないでください。

イヤホン端子
イヤホンや外部スピーカーを接続する端子です。

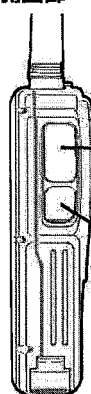
ダイヤル
「音量、チャンネル、グループ、セット、モード」キー

マイク端子
外部マイクを接続する端子です。

ダイヤルを回して音量を調整します。
[ファンクション] キーと [モード] キーを同時に押しながら回すとチャンネルグループが変更できます。
[モード] キーを押しながらダイヤルを押すと通話モードが変更できます。
 点灯状態で押すとセットモードの項目選択ができます。

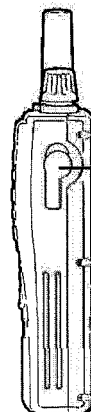
15

■側面部



[PTT] キー
押すと送信します。離すと受信待ち受け状態になります。
各種設定を完了する際にも使用します。

[フックA/B] キー
本機では使用しません。

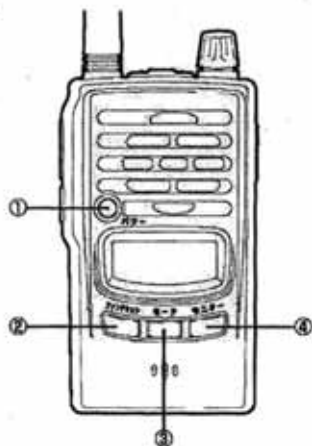


DC-IN
外部電源接続端子です。
オプションのACアダプター (EDC-122) やシガーライターケーブル (EDH-33) を接続します。
オプションのリチウムイオンバッテリーパックやニッケル水素充電機を装着し充電できます。

注意 外部電源のプラグの抜き差しは、本機の電源をOFFにしてからおこなってください。

16

■キー配置



キー名称	機能
① [パワー]キー	約1秒間押し続けて電源をON/OFFします。
② [ファンクション]キー	各種設定の選択に使用します。 約3秒間押し続けるとキーロックができます。
③ [モード]キー	このキーを押しながら、ダイヤルを押すと通信モードの切り替えができます。
④ [モニター]キー	相手の音声が届かなくなると使用します。 押している間は、「ザー」というノイズが聞こえます。

1

17

■ディスプレイ



番号	機能
①	[ファンクション]キーを押すと点灯します。
②	音声が届かなくなる条件(*)を満たしたときに点灯します。
③	運用状態、チャンネル番号を表示します。
④	セットモード時には、設定項目や設定値を表示します。(P.29)
⑤	コンパクター機能が設定されています。
⑥	一定の強さ以上の信号を受信すると点灯します。
⑦	電池が消耗すると点灯します。(P.27)
⑧	音量レベル、グループ番号を表示します。
⑨	キーロック中に点灯します。(P.26)
⑩	中継通信モード中に点滅します。(P.20)
⑪	受信中に点灯します。
⑫	送信中に点灯します。
⑬	チャンネルグループ番号、中継器番号を表示します。

(*) チャンネル番号、グループ番号ともに一致したとき。

✖ モ 番号を表示していないマークは、本機には使用していません。

1

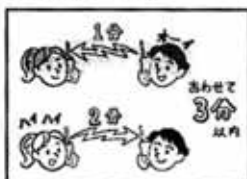
18

… 特定小電力の通信制限について …

特定小電力トランシーバーの通信に関する電波法上の制限事項について説明します。

■3分制限 (3分以上は連続で送信できません)

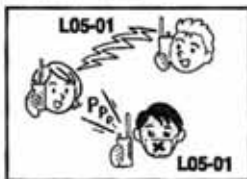
送信、受信合わせて3分以内です。
10秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。



注意 3分の通信時間制限により、自動的に通信が停止した後は、約2秒たたないと次の送信はできません。

■キャリアセンス (受信中は送信できません)

一定の強さ以上の信号を受信しているときは [PTT] キーを押しても送信できません。
受信中に [PTT] キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。



注意 ビープをOFFにしているとき、アラーム音は鳴りません。

1

19

2 中継通信 (半複信) モード

工場出荷状態で電源を入れると、このモードになります。中継器を使用することによって、直接では電波が届かない相手と通信することができます。
中継通信モードで運用するには、専用の中継器 (DJ-U2R) が別途必要です。

注意 DJ-U2R以外の中継器を介して通信することはできません。
原理上、他の中継器対応の特定小電力トランシーバーとは対応できません。

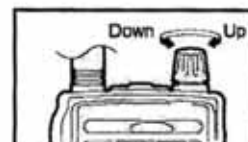
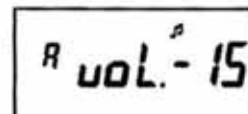
■電源を入れる

[パワー] キーを約1秒間押し続けます。
電源を切るときも同じ操作をします。



■音量を調整する

初期状態では「15」に設定されています。
ダイヤルを回すと音量が増減できます。音量調整は0~30までの31段階です。



2

20

■チャンネルグループを合わせる

【ファンクション】キーと【モード】キーを同時に押しながらいヤルを回します。

中継器（DJ-U2R）と同じチャンネルグループ（A～H）に合わせてください。

※ 中継器DJ-U2Rの設定について、詳しくはDJ-U2Rの取扱説明書をご覧ください。

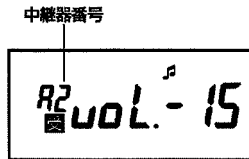


2

■送信する

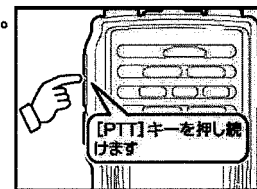
- ① 最寄りの中継器からの電波を受信すると、ディスプレイの図がゆっくりと点滅し、中継器の番号が表示されます。

→この場合中継器を使用することができます。



- ② 【PTT】キーを押し続けます。

→「ビビッ」という音が聞こえます。



21

- ③ 「ビビッ」音のあとに、【PTT】キーを押したままマイクに向かって話します。

注意 原理上、相手機に音声が届くまでに遅れを起すことがありますので、ひと呼吸おいてから話してください。それぞれの無線機が互に近距離にあると誤動作することがあります。子機 - 中継器間、子機 - 子機間は10メートル以上離してください。

2

■「ブブ…」と音がしたら

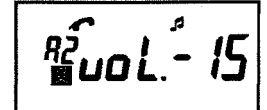
中継器へのアクセスが失敗した場合、「ブブ…」と音が出ます。一度【PTT】キーを離し、再度押し続けてください。

中継器との距離が遠く、通話エリアにない場合や、一定の強さ以上の信号を受信しているとき（キャリアセンスP.19）も「ブブ…」と音が出ます。

→ディスプレイ上、中継器の番号が消えてチャンネルグループ番号だけになります。この場合は中継器を使用することができません。

■受信する

チャンネルグループが一致する信号を受信した場合、スピーカーから相手の声が聞こえます。



→ディスプレイに「」が点灯します。

22

3 交互通話（単信）モード

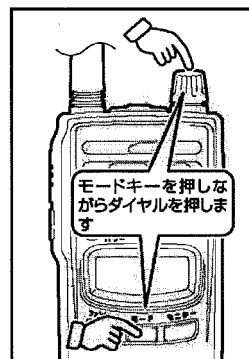
最も基本的な交互通話モードです。周波数構成が同じであれば、他の特定小電力トランシーバーとも通信できます。

使用チャンネル：L01～L09、b01～b11
（合計20チャンネル）

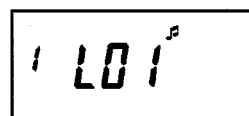
①モードを切り替える

【モード】キーを押しながらダイヤルを押します。

→ダイヤルを押すごとに、中継通信モードと交互通話モードが切り替わります。

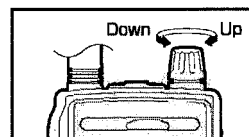


3



②チャンネルを合わせる

ダイヤルを回してチャンネルを合わせます。

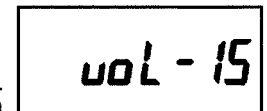


23

③音量を調整する

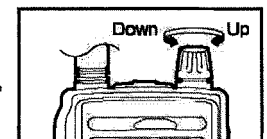
- ①ダイヤルを押す

→ディスプレイに音量レベル「VOL - 15」が表示されます。初期状態では「15」に設定されています。



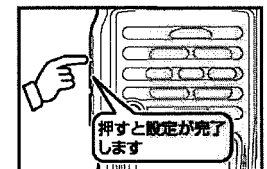
- ②ダイヤルを回して音量レベルを調整する

→音量レベルの表示中にダイヤルを回すと音量レベルが増減できます。音量調整は0～30までの31段階です。



- ③希望の音量レベルを選択したら【PTT】キーを押して設定を完了する

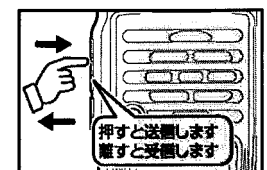
各キーの無操作状態が約5秒続いても自動的に設定を完了します。→通常の待ち受け状態に戻ります。



- ④送信する

【PTT】キーを押すと送信し、離すと受信待ち受け状態に戻ります。

【PTT】キーは、各種設定を完了する際にも使用します。



24

4

便利な機能

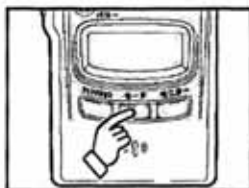
本機を使用する際に便利な機能を紹介します。

..... グループトーク

同じグループの人とだけ通信したいときはグループトーク機能を使用します。交互通話（単信）モードのみ使用できます。

① [モード] キーを押す

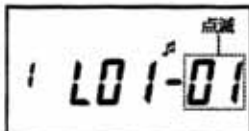
→グループ番号が点灯します。



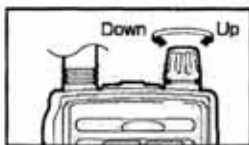
4

②ダイヤルを2回押す

→グループ番号が点滅して、グループ番号を変更することができます。



③ダイヤルを回してグループ番号を選択する



25

便利な機能

④ [PTT] キーを押して設定を完了する



※ グループトークはトーンスケルチと呼ばれることもあります。この機能は秘話機能ではありません。

..... キーロック (2タイプ)

キーロックしておくと、誤操作などによる設定変更を防止できます。

※ キーロック中でも、電源ON/OFF、音量調整、送信、モニター操作は操作可能です。
・乗換用途などで簡単にロックを解除したくないときは、通常キーロックをお勧めします。

■簡易キーロック

●キーロックする

【ファンクション】キーを約3秒押します。
→0mが点灯します。キーロック中、無効操作をおこなうと「LoC-1」が点滅します。



●キーロックを解除する

キーロック中に【ファンクション】キーを約3秒押します。
→0mが消灯しキーロックが解除されます。

26

便利な機能

■通常キーロック

●キーロックする

【モニター】キーと【ダイヤル】を同時に約3秒押します。
→0mが点灯します。キーロック中、無効操作をおこなうと「LoC-2」が点滅します。



●キーロックを解除する

キーロック中に【モニター】キーと【ダイヤル】を同時に約3秒押します。
→0mが消灯しキーロックが解除されます。

※ キーロック解除は、キーロックをかけた操作と同じ操作をおこなわないと解除できません。

4

..... バッテリー警告機能

電池の残量が少なくなると□が点灯します。電池の交換時期が近付いています。新しい電池と交換してください。

※ 電源OFFの状態で充電すると「CHARGE」と表示され、□が点滅します。
・オプションのニッケル水素充電電池 (EBP-57N) をご使用の場合、セットモードでNi-MH電池充電機能をONに設定してください。充電機能をONにすることにより、本機がニッケル水素電池を使用していると判断し、□を交換時期に正しく表示します。



※ 本機には誤差があるため、目安程度とお考えください。

27

便利な機能

..... リセット

設定状態などがわからなくなったときに初期化できます。

【ファンクション】キーとダイヤルを押しながら電源を入れます。
→ディスプレイ全点灯中に【ファンクション】キーとダイヤルを離します。

※ リセットをおこなうと、チャンネルグループや通話モード、その他の設定済み内容が初期化されます。



4

28

5

セットモード

各種機能をより使いやすくするために、本機をカスタマイズする機能です。

..... セットモード一覧

	カスタマイズ項目	参照ページ	初期値
1	ビーブ音量設定	P.31	3
2	Ni-MH電池充電機能	P.31	OFF
3	スケルチレベル設定	P.32	3
4	PTTホールド機能	P.32	OFF

P.29～P.32にセットモードの各項目の設定方法を記載しています。なお、掲載しているディスプレイ表示は、工場出荷（初期）の状態のものです。

注意 中継通信モードではセットモードにすることができません。

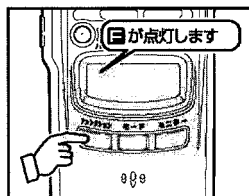
..... 各項目の設定方法

セットモードで設定する各カスタマイズ項目の基本的な設定方法は次の通りです。各項目の詳細は、該当するページを参照してください。

① 交互通話（単信）モードにする（P.23）

② セットモードにする

【ファンクション】キーを押します。
→**[F]**が点灯します。

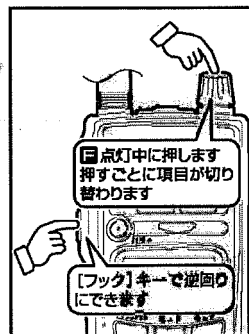


29

セットモード

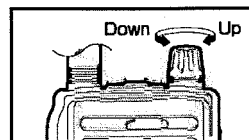
③ [F]点灯中にダイヤルを押す

→セットモードの項目が表示されます。ダイヤルを押すごとに項目が切り替わります。【フック】キーを押すと前項目に戻ります。

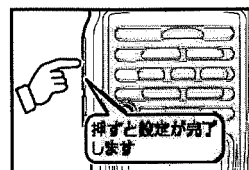


④ ダイヤルを回して設定値を変更する

または、ダイヤルを回してON/OFFを選択します。



⑤ [PTT] キーを押して設定を完了する。



30

セットモード

ビーブ音量設定

本機から鳴るビーブ音（操作音）の音量を設定します。初期状態では「3」に設定されています。

① ビーブ音量の設定をする

セットモードにして（P.29）「bEEP 3」を選択します。



② ダイヤルを回しビーブ音量を設定する

ビーブ音量は0～5の間で選択できます。「0」に設定するとすべてのビーブ音（キー操作音、エンドビーなど）が鳴らなくなります。

Ni-MH電池充電機能

オプションのニッケル水素充電電池（EBP-57N）にトリクル充電する機能です。初期状態ではOFFに設定されています。

※モ オプションのニッケル水素充電電池（EBP-57N）をご使用の場合、セットモードでNi-MH電池充電機能をONに設定してください。充電機能をONにすることにより、本機がニッケル水素充電電池を使用していると判断し、バッテリー警告マークを交換時期に正しく表示します。本機は微小電流による充電であるため、補充程度とご考慮ください。充電時間の目安は次の通りです。
EBP-57N（1800mAh）：約15時間

注意 単三形乾電池（アルカリ/オキシライドなど）装着時には絶対に充電しないでください。液漏れを起こし、事故や故障の原因となります。また、市販の単三形充電電池は、電圧的に合わないものがあるため、使用しないでください。

① Ni-MH電池充電の設定をする

セットモードにして（P.29）「oFF CHARGE」を選択します。



② ダイヤルを回しON/OFFを設定する

31

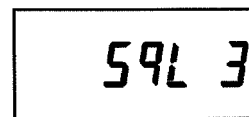
セットモード

スケルチレベル設定

スケルチとは受信時に信号がないときの「ザー」という雑音を消す機能です。初期状態では「3」に設定されています。設定値が大きいほど、強い信号でスケルチが開くようになります。

① スケルチレベルの設定をする

セットモードにして（P.29）「Sql 3」を選択します。



② ダイヤルを回しレベルを調整する

レベルは0～5の間で調整できます。「0」に設定すると「ザー」というノイズが常時出るようになります。

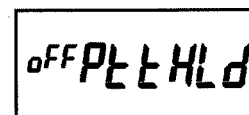
※モ スケルチレベルを上げすぎると弱い信号を受信しにくくなり、下げすぎると弱いノイズでもスケルチが開き、待ち受け時に「バザバザ」という音が出やすくなります。使用する環境に応じて微調整してください。

PTTホールド機能

【PTT】キーを一度押すと送信を継続する機能です。もう一度押すと受信待ち受け状態になります。初期状態ではOFFに設定されています。

① PTTホールドの設定をする

セットモードにして（P.29）「oFF PttHld」を選択します。



② ダイヤルを回しON/OFFを設定する

32

6 付 録

本機の補足事項を記載しています。

… 交互通話用チャンネルの送受信周波数 …

■レジャーチャンネル

L01	422.2000MHz
L02	422.2125MHz
L03	422.2250MHz
L04	422.2375MHz
L05	422.2500MHz
L06	422.2625MHz
L07	422.2750MHz
L08	422.2875MHz
L09	422.3000MHz

■ビジネスチャンネル

b01	422.0500MHz
b02	422.0625MHz
b03	422.0750MHz
b04	422.0875MHz
b05	422.1000MHz
b06	422.1125MHz
b07	422.1250MHz
b08	422.1375MHz
b09	422.1500MHz
b10	422.1625MHz
b11	422.1750MHz

… トーン周波数一覧 (グループ番号) …

番号	周波数	番号	周波数	番号	周波数	番号	周波数
01	67.0Hz	18	114.8Hz	31	192.8Hz	48	196.8Hz
02	71.9Hz	17	118.8Hz	32	203.5Hz	47	199.5Hz
03	74.4Hz	18	123.0Hz	33	210.7Hz	48	206.5Hz
04	77.0Hz	19	127.3Hz	34	218.1Hz	49	229.1Hz
05	79.7Hz	20	131.8Hz	35	225.7Hz	50	254.1Hz
06	82.5Hz	21	136.5Hz	36	233.8Hz		
07	85.4Hz	22	141.3Hz	37	241.8Hz		
08	88.5Hz	23	146.2Hz	38	250.3Hz		
09	91.5Hz	24	151.4Hz	39	259.3Hz		
10	94.8Hz	25	156.7Hz	40	269.8Hz		
11	97.4Hz	26	162.2Hz	41	281.5Hz		
12	100.0Hz	27	167.9Hz	42	293.3Hz		
13	103.5Hz	28	173.8Hz	43	306.3Hz		
14	107.2Hz	29	179.9Hz	44	320.5Hz		
15	110.9Hz	30	186.2Hz	45	335.9Hz		

中継通信用は、421.5750~421.7875MHz、421.8125~421.9125MHz、440.0250~440.2375MHz、440.2625~440.3625MHzを使用しています。

6

付 録

………… オプション一覧 ……………

EBP-57N	ニッケル水素充電電池
EBP-60	リチウムイオンバッテリーパック
EDC-131A	充電スタンド/ACアダプターセット
EDC-131	充電スタンド単体
EDC-122	ACアダプター単体
EDC-155R	EBP-60用連結充電スタンド
EDC-156(*1)	EDC-155R連結充電用ACアダプター
EDH-33	シガーDC/DCコンバーター (12V/24V車対応)
EME-12A	VOX付きヘッドセット (ヘッドホンタイプ)
EME-13A	VOX付きヘッドセット (インナータイプ)
EME-15A	VOX付きタイピンマイク
EME-19A(*2)	ヘルメット用ヘッドセット
EME-21A	イヤホンマイク (業務仕様)
EME-23A	イヤホンマイク
EME-29A	イヤホンマイク イヤーフック付 (業務仕様)
EME-30A	イヤホンマイク (ブームマイク)
EME-31A	イヤホンマイク (タイピンマイク)
EME-6	イヤホン (ストレートコード)
EME-26	イヤホン (カールコード)
EMS-59	スピーカーマイク
ESC-40	ソフトケース

※(*1): 最大6台まで一度に充電することが可能です。
※(*2): パイク用ヘルメットには使用できません。

6

34

付 録

………… 故障とお考えになる前に ………

本機が故障かなと思ったら、まずこちらをお読みください。

症状	原因	処置
電源が入らない。	電池の入れ方が間違っている。(P.11) 電池が消耗している。	電池を正しく入れ直してください。 新しい電池と交換してください。 充電電池を充電してください。
ディスプレイ表示が消える。	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。 充電電池を充電してください。
音が出ない。	音量が低すぎる。(P.20)	適切な音量に調整してください。
通話できない。	相手(中継箱)とチャンネル(チャンネルグループ)が違う。(P.21) 距離が離れ過ぎている。(P.8)	相手と同じチャンネル(チャンネルグループ)に合わせてください。 中継通話モードで通話の場合、中継箱も同じチャンネルグループに合わせてください。 場所を移動してから通話してください。
送信できない。	信号を受信している。(キャリアセンス) (P.19) 通話制限時間を超過している。(P.19)	信号がなくなってから送信するか、チャンネル(チャンネルグループ)を変更してください。 [PTT]キーを離し2秒たってから送信してください。
キー操作できない、チャンネルが変わらない。	キーロックされている。(P.26)	キーロックを解除してください。

処置を実施しても異常が続くときはリセット (初期化) してください。症状が回復する場合があります。

電池を消耗していると、まれに誤動作することがあります。新しい電池に交換してください。

アフターサービスや製品についての最新情報などは、アルインコホームページをご覧ください。

6

35

付 録

………… 定格 DJ-U1 ……………

送受信周波数	レジャーチャンネル	421.8125~421.9125MHz 422.2000~422.3000MHz (12.5KHzステップ)
	ビジネスチャンネル	421.5750~421.7875MHz 422.0500~422.1750MHz 440.0250~440.2375MHz (12.5KHzステップ)
送信方式	F3E (FM)	
送信電力	10mW	
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン	
受信感度	-14dBμ以下 (12dB SINAD)	
中継周波数	1st IF 21.7MHz / 2nd IF 450kHz	
高出力	内蔵スピーカー 200mW以上 / 外蔵出力 100mW以上	
消費電力	待機時 約75mA 受信定出力時 (50mW) 内部 約200mA / 外部 約100mA 受信待ち受け時 約55mA	
送信方式	半信方式、半復信方式	
受信電圧	DC2.4V~DC3.7V	
充電電圧	DC5.0V~DC6.0V EIA規格: 区分2	
動作温度範囲	-10℃~+50℃	
寸法	57(W) x 98(H) x 27.9(D) mm (突起部除く)	
重量	アンテナ長 Lタイプ 169mm / Sタイプ 36mm	
材質	Lタイプ 124g / Sタイプ 119g (電池除く)	

仕様・定格は予告なく変更する場合があります。

6

36